

Ⅲ 自由回答一覽

1. 記入状況

(1) 性・年齢別意見記者数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	計
男性	14	25	23	34	106	1	203
女性	14	35	47	50	91	1	238
不明	0	1	0	0	3	0	4
計	28	61	70	84	200	2	445

(2) 分野別意見数

①保健・医療・福祉分野	42
②都市基盤分野	95
③環境分野	37
④産業・経済・観光分野	83
⑤危機管理分野	14
⑥教育・文化・芸術分野	42
⑦コミュニティ分野	10
⑧行財政分野	208
⑨その他	60
計	591

2. 分野別意見一覧

(1) 保健・医療・福祉分野

高齢者について

- ・訪問介護ステーションの存在を広報紙などで広めてほしい。知っていれば利用しなかった。
- ・老後の行動（買い物や通院）が出来なくなった場合の協力をいただきたい。
- ・高齢化が進み、一人暮らし世帯が増えるなか、困り事を相談できる窓口を充実してほしい。
- ・今後の高齢者問題について積極的に取り組んでほしい。特に介護問題は大きな課題。待機児童ならぬ待機老人となった時には深刻な問題である。
- ・高齢化がますます進むなか、特別養護老人ホームや介護施設の増設など、高齢者が安心して暮らせる政策をとってほしい。

保健・医療について

- ・救急医療機関・医療や病院の充実。
- ・健診について、期間内に申し込んだ人は全員受け付けられることを原則としてほしい。
- ・子ども医療費の窓口負担なしを他市の病院にも広げてほしい。
- ・市外の病院で人間ドックを行った場合でも補助金を出してもらいたい。

児童・子育て支援について

- ・子ども医療費補助の延長を希望する。
- ・兄弟姉妹は同じ保育園に入園できるなど、保育環境の整備を望む。
- ・土曜日等において、保育園で子どもを預けることを拒否される場合が多くなった。また、保育士の人手不足等が目につくようになった。
- ・学童保育を小学6年生まで広げてほしい。仕事に従事できない。

障害者について

- ・障害者や難病指定患者への就労支援を充実してほしい。
- ・障害者のための福祉（施設や病院等）をもっと充実してほしい。
- ・障害児の福祉施設が少ない。特に、ショートステイ先が全くないので、高齢者が利用しているショートステイに障害児も利用することができたら少しはいいかと思う。
- ・子ども医療費のように、障害者医療も病院で決済してもらえるようになるといい。体が不自由で一人で手続きをするのは大変である。

(2) 都市基盤分野

道路、橋、交通について

- ・道路、歩道及び側溝整備してほしい。
- ・市内循環バスの増便や最終便の時刻を伸ばしてほしい。
- ・自転車専用道路を整備して、市内の観光地すべてを自転車で回れるようにしてほしい。
- ・行田市は、自然環境や観光資源など「強み」となるものはあるが、最大の弱みは交通の便だと思うので、JR行田駅を基点としたバスの運行形態が必要である。若い人の転入促進やまちの活性化などすべてが、JR行田駅を基点とする交通の便の向上にかかっていると思う。

- ・高齢化に伴い、車椅子を利用する方が増えると思うので、車道と歩道の段差を極力少なくしてもらいたい。

公園・緑地などについて

- ・子どもが安心して遊べる公園や施設を増やしてほしい。
- ・街路樹は多いが、かえって見通しが悪く、緑化に役立っているとはあまり思えない。市内に大きな公園をいくつか造り、その公園内に木をたくさん植え、運動したり犬の散歩ができたりした方がいいと思う。
- ・高齢者などが安心して休める公園を増やしてほしい。

(3) 環境分野

- ・ペットボトルの再利用を今一度検討してほしい。
- ・現在、燃えるごみの収集は週の前半に集中しているので、回数が減っても月・水・金または火・木・土のように平均化してもらいたい。
- ・飼い犬のふんの処理をきちんとならない人がある。ペットを飼う上でのマナーを指導してもらいたい。
- ・野良猫の対策を進めてほしい。
- ・河川の清掃整備をしてほしい。
- ・危険な状態になっている空き家が数多く見られる。所有者への連絡・指導を積極的にしてもらいたい。

(4) 産業・経済・観光分野

- ・食の安心安全を保つため、地産地消をできる限り進めてほしい。
- ・耕作放棄地や休耕田を管理する組織を整備してほしい。
- ・空き地等を市民の家庭菜園などに活用してみてもどうか。
- ・大型ショッピングモールを誘致してほしい。
- ・商店街の振興を進めてほしい。
- ・JR行田駅周辺を活性化させてほしい。
- ・総合公園プール跡地に道の駅をつくらしてほしい。
- ・食品以外の買い物は市外でしている。市は企業誘致だけでなく、商業の活性化に本気で取り組み、魅力あるまちづくりを進めてほしい。その点の充実が子育てに関する必須要件だと思う。
- ・地域経済を活性化させるため、中小企業支援を充実させてほしい。
- ・忍城や古墳、古代蓮など、行田にはすてきな財産があるので、その財産をもっと生かしたまちづくりを進めてほしい。
- ・ゆるキャラを使ってもっと行田の観光をアピールしてどうか。
- ・映画「のぼうの城」で知名度のあがった利点を生かし、歴史と文化に特化したまちづくりが必要ではないか。
- ・魅力的な行事や建物、文化資産があってもバラバラに存在しているので、十分に力を発揮できていないように感じる。
- ・市や市民一人一人が外から客を呼び込むことに非常に消極的な気がする。忍城や埼玉古墳群がうまく活用されていない。

(5) 危機管理分野

- ・防災行政無線の放送内容が聞き取れない（チャイムのみ分かる）ので、サイレン音で行う方法が災害時には役立つと思う。
- ・防災行政無線がうるさく、防災とは関係ないことまで放送している。まちなかは音量を控えめにして、郊外は大きくするなど臨機応変に対応してほしい。
- ・避難訓練を市内一斉に実施してみてもどうか。
- ・遠くから通学する子供たちにはスクールバスを運行するなど、防犯対策に配慮した取組をした方がいいのではないかな。
- ・子どもが安心して遊べるよう、防犯対策をしてほしい。

(6) 教育・文化・芸術分野

教育・芸術・文化施設について

- ・60歳以上あるいは子どもを対象とした文化活動が多い。初心者でも始めやすいコーラスやスポーツ等の活動を増やしてほしい。
- ・行田市は素晴らしい歴史や文化を持っているにもかかわらず、市民や職員はそのことに気付いていないようだ。
- ・地域公民館は行きにくく、入りにくい。
- ・2020年に東京オリンピックが開催されるが、行田市を外国人のホームステイ先として提供できたらいいと思う。

スポーツ施設について

- ・総合公園プールを放置したままで、何の計画もなく、説明もない。今後も何もせず放置したままにしておくのか。十分な説明がほしい。
- ・市民プールの更衣室やトイレがとても古くて、汚い。温泉のあるプールやスポーツジムをつくってほしい。
- ・スケートボードを楽しめる場所がほしい。
- ・行田市にはサッカー場がないので、サッカーの大会ができるような施設がほしい。

教育環境について

- ・学校にエアコンが導入され、勉強に集中できる環境が整ったので、中学校の部活動に専門の指導者を派遣し、スポーツや芸術の面においても向上させてほしい。そして、各校が切磋琢磨して豊かな人間をつくり、結果が残ればなおいいと思う。
- ・学校での道徳教育を充実させてほしい。
- ・他市では夏休みを短縮したり、授業時間を増やしたりしているが、行田はどうするのか。

(7) コミュニティ分野

- ・自治会に加入していないと、行政情報が全く分からない。
- ・自治会の回覧用紙が無駄である。
- ・高齢化が進み、自治会運営が難しくなっている。
- ・大人の運動会に人が集まらず、やらなくてもいいのではないかな。
- ・すべての面において、若者が交流できる機会や場所を提供してほしい。

(8) 行財政分野

職員について

- ・職員の態度が悪い。
- ・職員のやる気を出させてほしい。
- ・以前はお役所仕事だったが、最近は改善されてきたように思う。
- ・2年前ごろから、市職員の市民対応が非常に良くなってきたと思う。
- ・職員の異動が激しく、業務を把握してない職員が多数見受けられる。市民だけでなく、本人のためにも同一業務で3年位経験することが必要だと思う。
- ・混雑する窓口の職員を増やし、仕事量の少ない部署の職員を削減する。

税金・財政について

- ・市政に税金を生かして大切に使ってほしい。
- ・これからこういう事をしたい、推進したいと市政の考えが伝わってこない。何に税金を使うのか、もっと広くクリアに伝える努力をするべきである。
- ・市からの郵便物が多いように思える。お金をもう少し掛けずにやってほしい。
- ・高い税金を払っている割には、行政サービスの恩恵を受けていないと感じる。

市政について

- ・市政の改革が必要である。仕事の無駄が多いように感じるので、民間の業務効率化の専門家を配置し、推進する必要があると思う。民間に任せるものは任せるべきである。
- ・今後も健全な行政運営を望む。
- ・立場の弱い市民に優しい市政を望む。
- ・行田市の色を大切にしてほしい。大都市をまねるのではなく、行田らしさを前面に出して行政運営を行ってほしい。
- ・書面より、市民が今思っていることを生の声で聞くことがよりよい行政につながると思う。
- ・人口減少対策がすべてにおいて優先される課題である。
- ・ここ数年で行田に活気が戻ってきたと感じている。今後はいかにアピールするかである。
- ・災害の少ない恵まれた地域性をアピールして、市民サービスをよくすれば、若者も増えるのではないかと。
- ・いつでも気軽に意見・要望ができるよう、スーパーマーケットやコンビニエンスストアに意見箱を設置して、市政に反映させてほしい。

行政改革、庁舎などについて

- ・土曜日や日曜日の午後も開庁していただけたら、大変ありがたい。
- ・市役所内の各受付場所をもっと分かりやすくしてほしい。
- ・少子高齢化時代を迎え、10年、20年先を見据えた行政改革や効率化等を積極的に推進するとともに、若年層が転入したくなる魅力あるまちづくりや環境整備を要望する。
- ・相談窓口がオープンすぎてプライバシーに欠ける。
- ・もう少し総合案内などがあるといい。窓口で質問しても「ここでは分からない」と言われることが多く、相談できない。

まちづくりについて

- ・市民全員が安心して暮らせるまちをつくってほしい。

- ・若い世代が住みやすく、子育てしやすいまちにしてほしい。
- ・「行田」＝「あこがれの町」になったらいいなと思う。
- ・市民全体が生活しやすく、明るいまちになってほしい。また、高齢者や子ども、そして女性が子どもを産みやすい生活環境豊かな行田市になるよう要望したい。
- ・行田に住んでいることがうれしく誇れる市であってほしい。それには、大人も子どもも郷土を学習するなど、皆で盛り上げて行かなければならない。
- ・市民一人一人にやさしい手を差し伸べてくれるような市であってほしい。
- ・市民が「行田市が好き」「住んで良かった」と思えるものを、まずひとつあるとよいと思う。他の市にない、市民周知のよいものを広めてほしい。
- ・もっと全国にアピールできるまちづくりを進めてほしい。
- ・とにかくよい行田にしたい。子や孫が安心して暮らせるよう、市は精一杯力を出してほしい。

(9) その他

- ・アンケートの設問が多すぎる。
- ・アンケートをインターネットでも回答できるようにしてほしい。
- ・日頃、市内で感じたこと（意識調査の内容）を、随時感じたときに意見が出せるよう、無記名にて投書できるシステムがあればいい。メール等は発信元が判明するので目安箱的なものとしてほしい。
- ・行田市での政務活動的な支出はどうなっているのか。広報紙等での報告を望む。
- ・日頃思っていることをどこへ言ったらいいのか分からない。